

## きどころ寝(ね)をしない

「きどころ寝」とは、茶の間など<sup>しんしつ</sup>寝室以外の場所で、服も着がえず、少しの間寝てしまうこと。服を着たまま、所かまわず寝てしまう様子をいましめるものです。

〈こんな時に使います〉

ZZZ・・・



こんなところで  
「きどころ寝」して  
いないで、早く宿題を  
終わらせなさい!

〜とちぎ<sup>じん</sup>人の想い〜

ついつい寝てしまうきどころ寝。気持ち  
がよいものですが、食事の後などにきど  
ころ寝をしていると、親から「行儀<sup>ぎょうぎ</sup>が悪い。」  
「消化に悪い。」と注意されました。

## 〈きどころ寝の説明〉

畑仕事などで体が<sup>つか</sup>疲れてくると、お昼  
ごろひと休みしたくなるものです。ひと  
休みした後は、再び仕事にもどるので、  
着物を着替えず、家の中の適当な場所で  
ごろっと横になります。野良<sup>のらぎ</sup>着のまま少  
しの時間眠ることをキドコロネ(着所寝)  
というようになりました。

布団<sup>ふとん</sup>に入らず、うつらうつらしている  
とかげをひくこともあります。また、お  
風呂<sup>ふろ</sup>に入ったり、宿題をやったりするな  
どの、本来やるべきことがおろそかになっ  
てしまいます。

きどころ寝には、時間をむだにせず、  
節度ある生活を大切にしたいという思い  
が込められているのでしょうか。

すわっている場所に横になって寝てし  
まう様子からイドコロネ(居所寝)とい  
うところもあります。

